



— 学校教育目標 —

豊かに、たくましく、人とつながって生きる子
～ 自信をもつ 人の役に立つ ～

— 学校経営方針 —

人とのつながり（他者意識・協働志向）を重視し、子どもたちの **自己効力感** ・ **自己有用感** が高まる
授業・学校づくりを推進する。

汎用的な力

（カリキュラムマネジメントの視点）本校が子どもたちに付けたい資質・能力 **社会に参画・貢献して自己実現を図る力**

自己効力感とは

「自分にもできる」「自分でがんばれそうだ」
「自分の力に気付いた」という気持ち

自己有用感とは

「自分は誰かの役に立っている」「自分は必要な存在だ」
「自分は認められてる」という気持ち

— めざす子ども像 —

- 自信をもってがんばる子
- 人の役に立とうとする子
- いのちを大切にする子

— めざす学校像 —

- チャレンジする学校
- 「ごみ」と「いじめ」のない学校
- 安心・安全な学校

— めざす教職員像 —

- 笑顔と喜びを標準装備して
- 当事者意識をもって
- つねにアップデートして

最重点の取組①

「かわおか5つの行動目標」の徹底

- 1 すすんであいさつ
- 2 集会への参加のしかた
- 3 そうじ・あしまつ・整理整頓
- 4 ろうかの歩き方
- 5 5分前行動

他者意識
社会参画
社会貢献
の
基盤形成

学校
基本方針
いじめの
防止等

最重点の取組②

「キャリア・パスポート」の導入

（児童にとって）
目標設定とふりかえりの蓄積により、自分と対話することを通してキャリア形成と自己実現をめざす。
（教職員・保護者にとって）
児童理解・キャリアカウンセリングにつなげる。



授業改善

主体的・対話的で深い学び

教師主導からの脱却

研究主題

自ら進んで学び、互いに高め合う子の育成
～わかった・できた・楽しいが実感できる
体育科 算数科 を通して 授業をめざして～



家庭学習

10分×学年を基本に

「やるだけのびる」を実感させる



生徒指導

生徒指導の3機能

自己指導力の育成



人権教育

名札着用

「なかまの日」の充実

「そこにあなたがいる」

多様な価値観の理解



心と体の健全育成

「いのちはひとつ」

ジャンプアップ

自己防衛・自己抑制



児童会活動・たてわり

子どもどうし・異年齢をつなげる



総合育成支援教育

個を集団から切り離さない

パートナーシップ 社会に開かれた教育課程の実現をめざして

川岡地域
自治連・各種団体

川岡小学校PTA

川岡小学校
学校運営協議会



教育公務員として

信頼の獲得

厳正な服務

不祥事根絶

コンプライアンス遵守

京都市教育委員会・関係機関・桂川中学校ブロック・企業